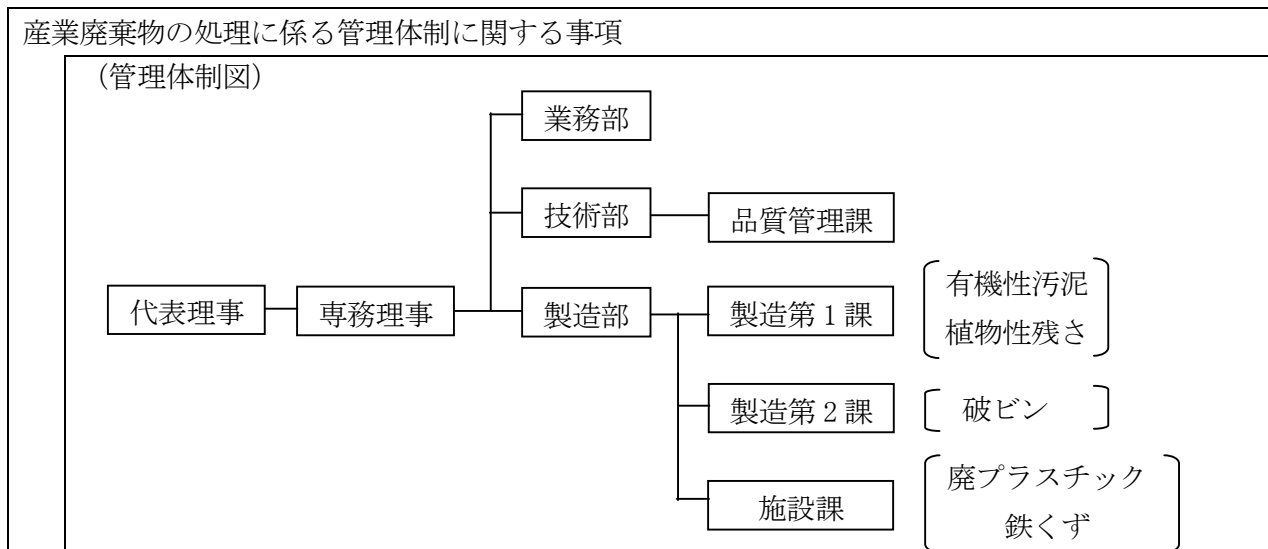


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成27年6月16日	
都道府県知事 広瀬 勝貞 殿	
提出者 住 所 大分県臼杵市大字大野160番外 氏 名 二豊醤油協業組合 代表理事 渡邊規生 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0972-62-3108	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	二豊醤油協業組合
事業場の所在地	大分県臼杵市大字大野160番外
計画期間	平成27年4月 ～ 平成28年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	14.25億円
③従業員数	50名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	有機性汚泥 → 処理業者へ処理委託 → 堆肥化 → 肥料 植物性残さ① → 再生利用業者へ処理委託 → 飼料 植物性残さ② → 再生利用業者へ処理委託 → 堆肥化 → 肥料 プラスチック → 処理業者へ処理委託 → プラスチック原材料 鉄くず → 処理業者へ処理委託 → 鉄原材料 破ビン → 処理業者へ処理委託 → 埋め立て



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	排出量	3955.9 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	排出量	3800 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用設備で分別処理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3490.5 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥脱水設備の導入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3400 t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水設備の運転管理の改善検討		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	465.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	465.4 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥	
	全処理委託量	400 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	400 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<pre> graph LR RL[代表理事] --- SL[専務理事] SL --- BU[業務部] SL --- TE[技術部] SL --- ZE[製造部] TE --- HJ[品質管理課] ZE --- Z1[製造第1課] ZE --- Z2[製造第2課] ZE --- SE[施設課] Z1 --- Z1L["有機性汚泥 植物性残さ"] Z2 --- Z2L["破ビン"] SE --- SEL["廃プラスチック 鉄くず"] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成26年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	植物性残さ
	排出量	233.2 t t
	(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・工程内で再利用していたが、品質向上のために平成27年1月から処理委託を始めた。 (新規設備導入により発生し産廃処理を始めた) 		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	植物性残さ
	排出量	580 t t
	(今後実施する予定の取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から開始した製造工程変更の為今年度は増加する。 飼料原料として全量引き渡している為、再生利用はできている。 排出量減量に関しては、今後方法を検討する。 		
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・専用タンクで分別処理 		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥脱水設備の導入		
②計画	【目標】平成27年4月～平成28年3月		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

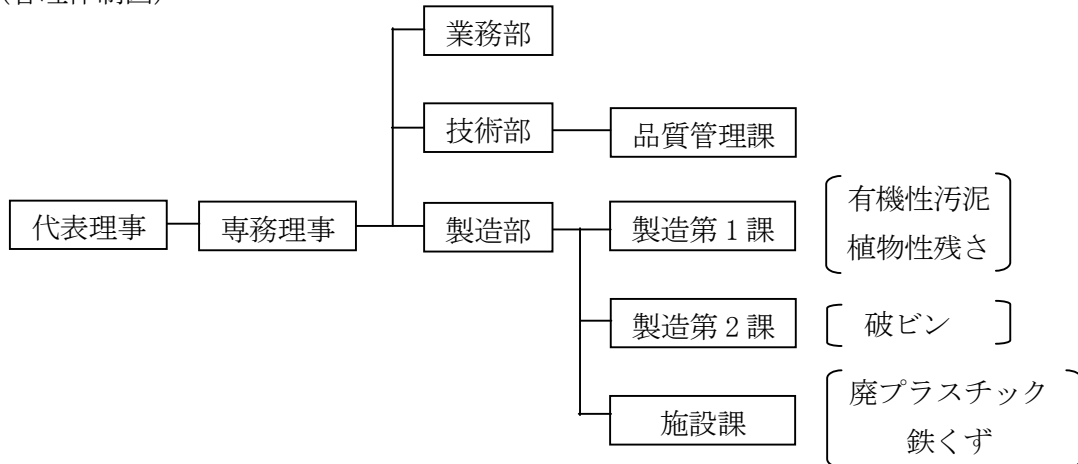
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	全処理委託量	233.2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	100 t	t
	再生利用業者への処理委託量	207.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
優良認定処理業者の選定			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	植物性残さ	
	全処理委託量	580 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	580 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排出量	8.4 t	2.2 t
	(これまでに実施した取組) ・ステンレス設備への計画的更新		
②計画	【目標】 平成27年 4月 ～ 平成28年 3月		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	排出量	50 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) ・工場内には旧設備が残っており、食品工場として衛生面で問題がある為、撤去工事を開始している。増加の可能性が高い。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用ヤードで分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

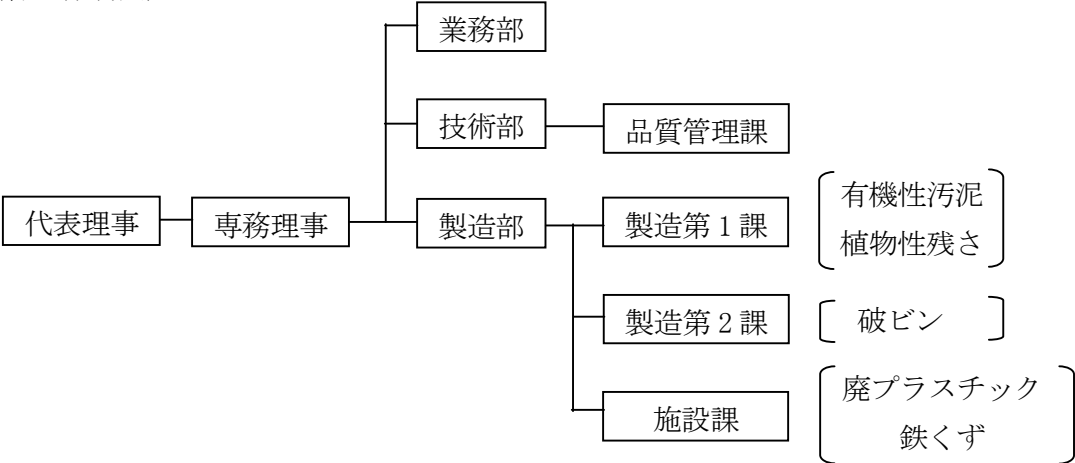
(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】平成27年4月～平成28年3月		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	全処理委託量	8.4 t	2.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8.4 t	2.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉄くず	プラスチック
	全処理委託量	50 t	10 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	50 t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（平成26年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	破ビン
	排出量	0.9 t t
	(これまでに実施した取組) ・ 瓶洗浄機の保守及び移設	
②計画	【目標】 平成27年 4月 ～ 平成28年 3月	
	産業廃棄物の種類	破ビン
	排出量	0.8 t t
	(今後実施する予定の取組) ・ ガラス製品の取扱い注意の徹底	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 専用ヤードで分別	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 現状維持	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】平成27年4月～平成28年3月		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	全処理委託量	0.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	破ビン	
	全処理委託量	0.8 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			